

社会福祉法人いぶきサポート協会

2020年度

事業所職員自己評価報告

事業所

- ちっぷ（児童発達支援）
- ばんびくらぶ（放課後等デイサービス）
- かなで（放課後等デイサービス）

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			母子療育でのスペース、または、体を動かしてダイナミックなあそびをする時のスペースとしては十分であるといえる。遊具の整頓を意識して行い、広いスペースを確保している。 個別の課題や身支度をする時などはパーテーションで仕切って使用している。
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			乳児の単独利用やその日の活動や子どもの体調に合わせて個別対応が必要である。利用人数により臨機応変に対応している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			時間や活動、物理的な構造化を工夫し、TEACCHプログラムを参考にしながら、利用児にわかりやすい環境づくりに配慮している。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>			午前、午後それぞれの支援時間で、利用する子どもの特性や活動内容に合わせた遊具や環境設定をしている。また、清潔を保つための清掃や消毒作業、そして感染予防のための除菌や換気に務めている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			支援の振り返りの他、時間を見つけて子どもの様子や保護者からの情報などを伝えあい、日々の支援に活かしている。定期的に会議を開き、支援内容の他、業務全般についても打ち合わせをしている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			保護者からのご意見を職員で共有し、評価を支援に活かしていきたい。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			ホームページで公表している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	実施することで新たな気づきを発見できると思う。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			外部の研修に参加し、その後は伝達の機会を設けている。また、知識を深め支援に活かせるよう事業所内研修を行いスキルアップに務めている。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>			契約や面談時に保護者のニーズや子どもの状態、課題を把握し、支援計画を作成している。様式もわかりやすく変更した。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		<input type="radio"/>		使用できていない。 保護者からの生活記録表と併せてサポートファイル的に活用していきたい。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>			ガイドラインの各項目を盛り込み、支援計画を作成している。目標達成のための具体的な支援方法も記入し、保護者と共有している。また、ガイドラインに関しては職員間でも周知を徹底していく必要がある。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>			毎回、個人記録の作成して支援の振り返りをしているが、支援計画を参考にしながら評価や支援の方向性を確認している。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			担当者が中心となって立案し、全体で話し合っている。

	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>		季節の行事など年間計画に盛り込み、毎月の活動テーマを決めている。それに基づき月間、週間へとねらいや活動計画を立てている。制作、調理、運動あそびなど毎月のテーマと関連付けながら取り入れている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		年齢や発達の課題を考慮しながら個別や集団活動を計画している。その子どものCA、DAを意識した具体的な訓練やあそびの重要性を感じている。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>		毎回実施計画書を作成して、活動内容やねらい、配慮事項、役割分担などを共有している。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>		子どもの様子や反応から、活動の内容や子どもの課題などを振り返っている。個々の発達の課題を共有し、今後の支援方法やねらいを明確にしていきたいためカンファレンスを大切にしたいと考える。
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>		その日の子どもの様子や保護者の様子だけでなく、保護者や関係機関から得た情報も記録している。ABAの検証にも役立っている。
	㉑	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>		定期的に（誕生月と半年後）保護者とモニタリングを実施し支援計画の見直しをしている。必要に応じて、相談事業所や保健センターなどの関係機関も同席してのモニタリング面談も行っている。
関係機関や保護者との連携	㉒	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	<input type="radio"/>		児童発達管理責任者が出席している。
	㉓	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	<input type="radio"/>		保健センター（地区担当保健師）や医療機関、在園先などと連携をとり情報共有をしている。特に、幼稚園やこども園と子どもの発達や変化について情報共有をし、支援の参考にしている。年に1～2回、園訪問をしている。
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			
	㉕	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力機関等と連絡体制を整えているか			
	㉖	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	<input type="radio"/>		幼稚園やこども園と適宜連携をとっている。入園時には担当者に申し送り書（情報提供書）を作成したり、会議をおこなっている。
	㉗	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	<input type="radio"/>		入学時には担当者に申し送り書（支援ファイル）を作成したり、会議をおこなっている。
	㉘	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	<input type="radio"/>		児童発達支援センター主催の研修会や交流会には必ず参加している。センター専門職員を講師に依頼して保護者向けの講演会を開催したいと考えている。
	㉙	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		<input type="radio"/>	あそびうたのコンサートを主催した際は地域の園を招待するなど交流の機会があったが、今年は計画できなかった。

	㉔	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	<input type="radio"/>			自立支援協議会の研修会に参加して、地域とのつながりについて情報をきいたり参考にしていきたい。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	<input type="radio"/>			単独療育を利用の方は連絡帳を利用したり送迎時に。母子療育の方は支援の前後に時間を設けている。お子さんの様子をお伝えする時には支援中の写真をお見せして共通理解を図る工夫をしている。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	<input type="radio"/>			毎月1回保護者の学習会を設けている。今年度からペアレント・トレーニングを7回シリーズで開催した。講座後のアンケートでは来年度も継続して受講したいと好評であった。また、就労している保護者も受講したいという声があった。母子療育での時間内に講座が開催できるように検討している。
保護者への説明責任等	㉗	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	<input type="radio"/>			契約時に書類を確認しながら説明をしている。
	㉘	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		面談時、支援計画を説明する際にガイドラインとの関連性についても周知していただけるとよいと考える。
	㉙	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	<input type="radio"/>			連絡帳や電話で相談を受けたり、母子療育での保護者とは直接話を伺っている。年に2回保護者対象に利用や悩みごとについてアンケートを実施し、母親の心のケアにも対応している。
	㉚	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	<input type="radio"/>			月1回の保護者の集まりは学習会の他、座談会も開催しており、保護者同士の情報交換や交流の場となっている。放課後等デイサービス利用の保護者と交流できる機会があると、入学について(学校生活について)の知識も広がると思う。
	㉛	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	<input type="radio"/>			保護者から依頼がある時は、いつでも相談できる体制を整えている。必要に応じて上司や関係機関などにも情報提供し、対応している。
	㉜	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	<input type="radio"/>			月に1回子どもの様子や子育ての情報、行事予定などを記載したおたよりを発行している。行事があった時は様子を増刊号で伝えている。
	㉝	個人情報の取扱いに十分注意しているか	<input type="radio"/>			契約時には保護者の意思確認をしている。また、守秘義務を守り、書類の保管を徹底する、関係機関への情報提供の際は保護者の同意を得るなど十分配慮している。
	㉞	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	<input type="radio"/>			絵カードやマークなどの視覚支援や構造化を重視し、支援に取り入れている。保護者にも予定表や子育てに関する資料などを配布して、紙面でわかりやすく伝えている。
	㉟	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	今年度は行っていない。
		㊱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	<input type="radio"/>		
	㊲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	<input type="radio"/>			年間計画を立て訓練を実践している。災害や不審者対応訓練には母子療育の保護者も参加している。

非常時等の対応	④③	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			契約時のアセスメントで情報を聞き、把握している。 今のところ支援中の与薬はないが、服薬状況について情報を得たり、定期的に確認している。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者から聴き取りをして対応している。おやつ時、初めて食べるお菓子は、現物を見せて確認している。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例報告書を作成し、職員間で共有している。事故や怪我が起きやすい活動や場所については統計をとるなどして支援に役立てたい。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			事業所内での人権擁護係が中心となり、研修会を開催している。職員のセルフチェックも実施している。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			今のところ、身体拘束に値する利用児はいない。 子どもの状態を把握して必要性があると判断された場合には、保護者に対応について話し合う必要がある。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・整備体制	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			<ul style="list-style-type: none"> ・刺激となるような場合には、パーティションで区切ることによってストレス等の原因とならないように配慮している。 ・晴れの日はすぐに出入れる庭があるため庭で体を動かしたり、季節に応じた遊びを行うことができていると感じる。
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			<ul style="list-style-type: none"> ・個別での配慮が必要な利用者への配置は出来ているが、全体での活動や場面によっては安全対策が必要になる場合がある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリーの配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			<ul style="list-style-type: none"> ・玄関や庭出入り口にスロープを設置し、車いすの児童でも移動しやすくなっており、非常時にも対応できる。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			<ul style="list-style-type: none"> ・送迎や勤務時間等の理由で全員揃う時間を確保することが難しいこともあるため、業務日誌等で情報共有に努めている。 ・できるだけその日のうちに活動の振り返り、子どもの様子を共有し、改善していくことを大切にしていきたい。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果を考慮した年間計画の作成や配慮等を実施している。 ・保護者だけでなく子どもたちの意向も活動に組み込んでいる。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の集計結果を3月上旬に保護者へお渡ししている。ホームページには、法人の各事業所でまとめたものを毎年更新して公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後行うことが必要と考えている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内で研修を行い、支援方法の見直し、検討する機会を設けている。 ・コロナの影響で選考漏れにより参加する機会を失ったり、外部研修は感染対策の観点から参加する機会がなかった。 ・オンラインでの研修に参加している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>			<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に保護者と面談を行ったり、職員会議でモニタリングを行う中で課題を整理し、個別支援計画に活かしている。子どものニーズにも目を向けているようにしている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・行動分析を行い、子どもの行動の背景を把握したうえで支援に活かしていきたい。 ・太田ステージやMEPA-R等を参考にしたい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			<ul style="list-style-type: none"> ・日々の支援は、週のリーダーを中心に考えながら、意見を出し合っている。 ・季節ごとの行事は、担当制にしており、行事のねらいやプログラム等の計画を行い、担当を中心に会議で意見を出し合い楽しいものを心がけている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			<ul style="list-style-type: none"> ・季節のイベントとそれに関する活動、また、ひと月の中で活動内容が重複しないよう配慮している。 ・活動と活動のつながりを考慮して立案を心がけている。

	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・その時々子どもたちの様子を見ながら、支援を行っている。 ・ひとつの活動の中でも子どもごとに参加方法やねらいをそれぞれに設定するようにしている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・そのときの子どもの状況に応じて、集団と個別活動の支援方針を考慮し、作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・毎日利用者が変わる中で、安全を保つため毎日の配慮や留意事項が変わってくる。一人ひとりに目を向けていきたい。 ・始業時と支援前に打ち合わせや準備を行い、支援前にはその日の活動内容、配慮事項を共有している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・支援での出来事を情報共有として話したり、日誌に記入したりしている。 ・できるだけその日のうちに活動の振り返り、子どもの様子を共有することを大切に行っていきたい。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・正しく記録を取ることに努めている。 ・記録から支援の改善策につながるよう、子どもの行動、支援方法の前後の簡潔な記載を心がけていきたい。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・6ヶ月に1回、もしくは状態を見て保護者や職員との面談で見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの年齢や、利用回数、特性を考慮しながらできる限りガイドラインに沿うように支援を組み立てている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・会議にはできる限り日程調整を行い、会議の内容により参加者を決定している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・学校だけでなく、他事業所との情報共有を必要に応じて適宜行っている。 ・個別支援計画の共有を行っている学校もある。トラブルがあった時には関係機関に迅速な連絡、情報共有を心がけている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		<ul style="list-style-type: none"> ・今のところ医療的ケア児は利用されていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・利用前に集団での様子や留意することなど引継ぎをさせてもらっている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・次の事業所へ口頭や文書で引継ぎや提供を行うようにし、利用児童に負担がかからないようにしている。

	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		・今年度はコロナ禍の影響から研修に参加していない。児童の状況によって専門機関とのつながりを強化していきたいと考えている。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	・現在ではコロナ禍の状況もあり交流は行っていない。今後状況を見ながら少しずつ交流する機会を設けていきたいと考えている。
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			・施設長が参画しており、地域の情報を得ている。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・お迎え時に事業所での児童の様子をお伝えするとともに、ご家庭での様子をお聞きしている。また定期的に面談し、子どもの状況の共有やニーズの把握に努めている。 ・自宅送迎などでなかなかお会いできない方には、連絡帳にひと言でも記載するよう努めているところである。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		・ペアレントトレーニングの場としては開催していないが、迎え時や面談時等に、事業所において実践しているその時の子どもの状態に応じた関わり方や視覚支援ツールをお伝えしている。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・利用契約の際に説明を行っている。利用開始後も保護者から分からない部分を聞かれたときには分かりやすくお伝えできるようにしていきたい。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・保護者の方の思いを傾聴したり視覚支援グッズや適切な行動がとれるような情報等の提供を行い、一緒に考えている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・今年度はコロナ禍の観点から進路の選択肢となるような学校や施設見学は行わなかった。 ・定期的に茶話会を開き、保護者同士の連携や情報交換だけでなく、卒業生の保護者やKINGOカレッジの方から進学・障がい特性等情報を得る機会になったと思う。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・できるだけ迅速に対応するよう努めており、文書にて職員間で情報共有を行い、改善に努めている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・月一回のおたよりの発行を行い、事業所での様子や予定をお伝えしている。 ・月に一度のおたよりの内容を情報発信してより充実したものにしていきたい。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			・部外者や他者に見られては困るものは、鍵付きの棚に管理している。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・その子どもの特性に合った伝え方、わかりやすさを心がけており、視覚的な支援やことばを選んで伝えるようにしている。

	⑳	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・買い出しやテイクアウト昼食等で地域の人と触れ合う場の提供を意識して計画している。 ・コロナ禍の影響により今年度は地域住民等を招待する機会は設けていない。今後状況を見ながら地域住民との交流の機会を作っていきたい。
非常時等の対応	㉑	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・各マニュアルを避難訓練など折に触れて職員と共に確認や見直しを行っている。 ・学校の対応に沿い保護者の要望を踏まえたマニュアルを作成し、法人内の事業所と連携し、保護者に負担の無いような対応をとるようにしている。
	㉒	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・地震、火災、津波、不審者からの避難訓練を行い、職員や利用者の取るべき行動を利用者に確認しながらその都度確認している。避難リュックの中身の確認も行っている。
	㉓	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・児童部の人権擁護係が中心となり、研修やセルフチェック等を行っている。
	㉔	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束はしていないが、日々の支援を利用者の人権を意識することを大切に行っていきたい。
	㉕	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーのある子どものチェックを行い情報共有している。 ・アレルギー対応表をおやつ準備時の棚とおやつカゴに表示し、その都度確認できるようにしている。
	㉖	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットがあったときには、適宜記録し回覧している。同じ失敗やヒヤリハットを起こさないよう具体的な対策を立て実行している。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・整備体制	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			必要に応じてアルバイトさんに出勤を要請しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		日々PDCAを意識し業務を行っているが、パート・アルバイトまでは共有できていない。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価についてはよくわかりません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人内や外部の研修には積極的に参加しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか		○		なかなか保護者からニーズを発信してくれることがなく、適切なのかを考えると、疑問は残ります。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員間で話し合い、アイデアを出し合い立案しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		個々に合わせた活動プログラムを提案しているが、変化が苦手な児童に対しては固定化してしまうこともあります。

	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		事前に職員間で話し合い、設定しているが、きめ細やかまではできていないと思います。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			全日の振り返りも含め、情報共有しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後、送迎等で振り返りの時間を設けることができなかった時は、翌日行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録は職員間で確認し合い検証・改善に繋がっています。
	⑱	定期的モニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか		○		ガイドラインを再度見直し、支援の構築を行います。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			口頭や書面を通して情報の共有を行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケア児の受け入れは行っていません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			見学や話し合いの場を設けていただき、情報を共有することで、つながりを持った支援を行うことができます。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			移行先の担当者が見学に来られ、かなででの様子をお伝えすることができました。

	⑫	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		研修には参加しているが、助言をいただく機会がありません。
	⑬	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	近隣に児童クラブ等がなく、交流の機会がありませんでした。今後、近隣にお住いの児童と交流できるイベントを行いたいです。
	⑭	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか			○	現在参加はしていませんが、議論されていることについては、閲覧等で把握するようにしています。
	⑮	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や連絡帳を通し、情報共有を行っています。
	⑯	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	ペアレントトレーニングについての知識の向上を図り、支援に繋ぐことができるようにしていきます。
保護者への説明責任等	⑰	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時や変更があった時に説明を行っています。
	⑱	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	⑲	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	複数での集まりが、社会的に安全とされたのちに開催したいと思います。
	㉑	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	㉒	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的におたよりを発行しています。
	㉓	個人情報に十分注意しているか	○			
	㉔	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			

	⑳	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			季節のイベントには回覧板等を通して周知しています。また、地域の行事にも参加させていただいています。
	㉑	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		今後、書面・ホームページで周知徹底を行います。
非常時等の対応	㉒	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			地震・火災・不審者対応の訓練を定期的に行っています。
	㉓	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	㉔	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	○			
	㉕	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		意志の指示書が出されているレベルのアレルギーをお持ちの方はいませんが、保護者からの情報によるアレルギーに対しては、除去食等の配慮を行っています。
	㉖	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			